
子どもとカト

ANOIA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
子どもと力と

【コード】
N6296B

【作者名】
ANOIA

【あらすじ】
少年は待っていた。小さなバックを抱えて、じっと待つ。

一人の少年がベンチに座っている。

目の前には大きな空。ビルは競い合うように高く、いつかはあの雲まで届くのだろう。

太陽を中心にして廻る雲と、水彩のように淡い空だけが少年の目に映っていた。

身なりは悪くない。空色のシャツと茶の短パンは、春風には少し肌寒かった。

まだ小学生か、七歳、いや六歳ほどだろうか。

大事そうに小さなセカンドバッグを抱えている。しかし、その小さな体ではバッグも大きく見えてしまう。

何かを待っているのだろうか。一心に、ただそれしか許されていないように空を見ている。

もし少年が視線を下ろしても、そこには鮮やかな色を行きかう人込みと、靴の隙間に映る長く続いたアスファルトだけだ。

誰も少年を振り返らない。

人込みなんて波のようなものだ。だとすればこの雑踏は波音とでも表現するべきか。

そして、波は水面に浮かぶ流木のために止まったりはしない。

ベンチに腰掛けていても、少年の姿は流されてしまいそうだ。

ちっちゃくて弱くても、誰も人波に溺れてしまった少年を助けることはしない。

声も出せず、少年は空を見ていた。

涙が出ないように、溢れてしまわないように上を見る。

そうしているうちに、水色が灰色に埋め尽くされていく。

雨が降る前に、聞きなれた声が迎えに来てくれるのだと信じていた。

例え幾万の人込みに溺れていたとしても、絶対に迎えに来てくれるのだと確信していた。

見上げていた空には、既に水色がない。

日が落ちてきたのだろう、空を覆う灰色が濃くなっていき、ビルは影絵のように色を沈めていく。

ぼたり、と、アスファルトを黒く染める雨。

とうとう降りだしてきた雨に、少年は差す傘もなくベンチに縮こまる。

あれほど煩かった波は引き潮のように引いて、誰一人道を歩かなくなつた。

雨の通りを彩る傘を持つ人も、強く打つ雨の中から逃げていく。

逃げなかったのはベンチと、その上に腰掛けている少年くらいだった。

俯いて、雨音に声を混じらせる。その声は誰も聞き取られることもない。

笑い声なのか、泣いているのか、誰にも分からない。

俯いた頬から流れる雨は、何故だか少し量が多いように見えた。

それでも、少年はセカンドバッグを抱えて待ち続ける。

悴んだ手でチャックを引いて、中身を確認した。

中身は札束。輪ゴムでとめられた札束が幾つか入っている。

少年には札束なんてどうでもいいものだった。しかし、少年は母親がそれを集めていたのを知っている。

これだけの量を、母親が少年に預けたのだ。取りに戻ってこないはずがない。

少年はそう確信していた。母親が迎えに来ないはずがないのだ。だから大事にバッグを抱え、母親が困らないように別れた場所を待っていた。

幾ら雨に打ち付けられても、一心不乱に耐える。

冷たい雨は、少年の息を段々と奪っていく。

指先から始まり、四肢が凍んでいく。

泣きながら願った。

例えば自分が目的でなくてもいい。バッグのついででもいいから迎えに来て欲しいと。

そこで気が付いた。少年には、そのバッグほどの価値もないのだと。

初めて、捨てられたのだと気付いてしまった。

x

ベンチには誰もいない。

打ち捨てられたセカンドバッグだけが、雨水を弾いた。

遠くで、空よりも遠くで誰かが少年を呼ぶ声を聞いた。

そう、何所よりも遠くで。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6296b/>

子どもと力と

2011年1月20日01時25分発行